



本日、当局との事務折衝に入ります!

先日の速報でもお伝えしたように、組合側に説明資料の提示がないことは、我々に精査する余地も与えない不誠実な対応です。この状態では交渉のテーブルにもつけません。

事務折衝では、組合側に対する資料提出と丁寧な説明が最優先であることを訴え、その上で、これまで当局が示す提案では容認できないと、断固たる決意で臨みます。

事務折衝においても、下記の要求を訴えていきます。

- ・被災自治体の職員給与で、被災財源を補填するということは、歴史上一度もないことであり、断固反対する。
- ・組合と十分な協議の時間も、長期的な財政計画の提示も無いままの給料カットは、断固反対する。
- ・10%という削減率は、組合員の生活に与える影響が大きすぎるが、合理性のある判断根拠を示すべき。
- ・福井市の未来を考えた上でもより良い改善策を模索するべきだ。

【これまでの取り組み】

当局に対し資料提出を要求 (5月11日)

市職労は当局に対し、今回の提案に至った資料の提出を書面にて要求しました。

顧問弁護士に相談 (5月10日)

当局からの提案と強硬な姿勢に対して、自治労県本部の顧問弁護士への相談を行いました。顧問弁護士からの見解も参考にしながら今後取組みを進めていきます。

市職員全体の取り組みで歴史にない給料カットをはね返そう!

今回の不足額(約 13 億円)は、福井市の平成 30 年度歳出予算(1052.9 億円)の約 1.3%にあたる金額です。職員一人一人が、各事業に対し更なるコスト意識をもって取り組めば、長期的に解消できる額ではないでしょうか。組合運動も仕事も一人一人がやれることを積み重ねていくことが大事です。職員一人一人の訴えと今後一層の取り組みで歴史的暴挙となる給料カットをはね返しましょう!

緊急組合員集会へ 組合員の結集をお願いします。

日時 5月17日(木) 18:00~(申込不要)

場所 織協ビル8階801会議室

多くの組合員の参加で意思の強さを示そう!

みなさん声をあげてください!
諦めないでください!